

第 11 回 コミュニケーション教育研究会 議事録

日時：平成 20 年 5 月 22 日（木） 16:40-18:30

場所：湘北短期大学 1 号館 128 教室

参加者：藤沢高校 佐藤 明宏先生；川崎総合科学高校 原 満先生、高木 誠先生；
二宮高校 河端 楓先生；有馬高校 小林 久美子先生
湘北短期大学 伊藤、岩崎、高橋、小棹（敬称略）

配布資料：

1. 資料 1：第 10 回コミュニケーション教育研究会 議事録案
2. 資料 2-1：フォーラム案
3. 資料 2-2：会場（はまぎんヴィアマール）参考資料
4. 資料 2-3：講演者検討資料
5. 資料 2-4：講演者大塚貢氏検討資料
6. 資料 3：平成 20 年度コミュニケーションリテラシー実施案
7. 資料 4：アンケート参考
8. 資料：情報処理学会 C&E 研究会報告別刷り

議題：

1. 第 10 回コミュニケーション教育研究会の議事録を修正の上、承認した。
2. 平成 20 年度接続講座「コミュニケーションリテラシー」
 - ①全 15 講（5 日間）とする。（資料 3 参照）
変更点（現 12 講から 15 講へ）

コミュニケーションの基本（読む技術、書く技術）	：2 コマ→3 コマ
Excel の活用とデータベースとしての利用	：2 コマ→3 コマ
情報の分析と問題解決（1）	：2 コマ→3 コマ
 - ②2 回開講
期間は下記 2 期とする。
第 1 期：12 月～1 月
第 2 期：2 月～3 月
 - ③単位化する
本講座を修了した場合は、湘北短期大学入学後に 1 単位として認める方向で検討する。
*生徒の取り組み方に好影響
*大学生の姿を見ることによって、その後の姿勢が変わってくる。
*高校にとっては、単位にならないところが多い。
*川崎総合科学高校では資格取得による増単制度がある。
3. フォーラムについて
 - ① 2 月 21 日（土）開催、場所ははまぎんヴィアマールとする（仮押さえ中）
 - ② 基調講演者
 - 趣旨に合う話の出来る方が良い。
 - 荻谷先生は渡英中で無理。
 - 説教じみた話よりも、高校の教員にとって参考になるデータを示してくれる講演者が良い（大手学習塾担当者など）。
→偏差値ではなく、教育内容を理解し、生徒と大学のマッチングを見た上で進路指導をする塾が増えている
4. アンケート
 - *次回継続討議

次回開催予定

平成 20 年度第 3 回（第 12 回） 6 月 12 日（木） 16:40～18:10
湘北短期大学 128 教室

議題： フォーラム内容
受講生の効果検証
アンケート

以上